

ホクコーザクサ[®]液剤

- 種類名：グルホシネートPナトリウム塩液剤
- 有効成分：グルホシネートPナトリウム塩 ----- 11.5%
- 化管法指定物質：ホリ(ホシエリン)ト"テ"シエ-ル硫酸エステルナトリウム [第1種] -- 6.5%
- ト"テ"シエ硫酸ナトリウム [第1種] ----- 5.2%
- ホリ(ホシエリン)=アルキエ-ル (アルキ基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。) [第1種] ----- 4.2%

- 登録番号：第22902号
- 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
- 登録初年：2011.03.15
- 性状：青色澄明水溶性液体
- 有効年限：4年
- 包装：500ml×20本、2ℓ×6本
5ℓ×3本、10ℓ×2本
6ℓ×3本(北海道のみ)
20ℓ×1本、50ℓ×1缶
100ℓ×1缶
200ℓ×1缶(予約期間限定)

【特長】

- 除草活性本体のみを製造する画期的な新技術である「キラルスイッチ」により合成。
- 一年生雑草から多年生雑草まで幅広い草種に対して、高い除草効果を示す。
- 土壌中での分解(半減期)が非常に速く、環境にやさしい。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
小麦 大麦	—	一年生雑草	耕起又はは種前(雑草生育期)	300~500 ml/10a		1回		4回以内 (は種後は3回以内)
	圃場内の周縁部		収穫7日前まで(雑草生育期)					
果樹類 (かんきつ、りんご、びわ、いちよう(種子)、くり、キウイフルーツ、食用桑(果実)、さんしょう(果実)を除く)	—	多年生雑草	収穫前日まで(雑草生育期)	500~1000 ml/10a				
かんきつ りんご びわ キウイフルーツ	—	一年生雑草	収穫21日前まで(雑草生育期)	300~500 ml/10a	100~150 ℓ/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
いちよう(種子)	—	一年生雑草	収穫14日前まで(雑草生育期)	300~500 ml/10a				
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
くり	—	一年生雑草	収穫30日前まで(雑草生育期)	300~500 ml/10a				
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
食用桑(果実)	—	一年生雑草	収穫45日前まで(雑草生育期)	300~500 ml/10a				
		多年生雑草	春期萌芽前及び夏切り後萌芽前	500~1000 ml/10a				
さんしょう(果実)	—	一年生雑草	収穫7日前まで(雑草生育期)	300~500 ml/10a		2回以内		2回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
そば	—	一年生雑草	は種前(雑草生育期)	300~500 ml/10a		3回以内		3回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ケルホネット及びケルホネットPを含む農薬の総使用回数				
				薬量	希釈水量							
豆類 (種実、ただし、らっかせいを除く)	—	一年生雑草	収穫28日前まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)	300~500 mℓ/10a	100~ 150 ℓ/10a	3回 以内	雑草 茎葉 散布	3回 以内				
豆類 (未成熟、 ただし、えだま めを除く)			収穫前日まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)						100~200 mℓ/10a	1回	3回 以内	
えだまめ			収穫14日前まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)							2回 以内		3回 以内
ばれいしょ			雑草生育期 萌芽前処理	300~500 mℓ/10a		3回 以内		2回 以内				
さといも			収穫21日前まで (雑草生育期 畦間処理)			2回 以内			2回 以内			
さといも (葉柄)			収穫30日前まで (雑草生育期 植付前 又は畦間処理)	300~500 mℓ/10a		3回 以内		3回 以内				
かんしょ			収穫7日前まで (雑草生育期 植付前 又は畦間処理)			2回 以内			3回 以内			
ごぼう			収穫30日前まで (雑草生育期 挿苗前 又は畦間処理)	300~500 mℓ/10a		2回 以内		2回 以内				
だいこん			収穫前日まで (雑草生育期 は種前 又は畦間処理)			3回 以内			3回 以内			
やまのいも			収穫45日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300~500 mℓ/10a		2回 以内		3回 以内				
いちご ピーマン なす トマト ミニトマト きゅうり とうがらし類			収穫30日前まで (雑草生育期 萌芽前 又は畦間処理)			3回 以内			3回 以内			
メロン レタス 非結球レタス			収穫前日まで (雑草生育期 定植前 又は畦間処理)	300~500 mℓ/10a		3回 以内		3回 以内				
キャベツ			収穫30日前まで (雑草生育期 定植前 又は畦間処理)			2回 以内			2回 以内			
はくさい			収穫45日前まで (雑草生育期 定植前 又は畦間処理)	300~500 mℓ/10a		2回 以内		2回 以内				
にら			収穫45日前まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)			3回 以内			3回 以内			
にんにく			収穫前日まで (雑草生育期 畦間処理)	300~500 mℓ/10a		3回 以内		2回 以内				
たまねぎ			収穫前日まで (雑草生育期 萌芽前 又は畦間処理)			2回 以内			2回 以内			
						収穫7日前まで (雑草生育期 定植前 又は畦間処理)						

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ケルソネット及びケルソネットPを含む農薬の総使用回数				
				薬量	希釈水量							
ねぎ すいか ブロッコリー	—	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前 又は畦間処理)	300~500 mℓ/10a	100~ 150 ℓ/10a	2回 以内	雑草 茎葉 散布	2回 以内				
アスパラガス			萌芽前(雑草生育期)						500 mℓ/10a	収穫前日まで (雑草生育期 畦間処理)	3回 以内	3回 以内
			一年生雑草 及び 多年生広葉雑草							収穫打切り後 (雑草生育期)	2回 以内	2回 以内
にんじん		一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 は種前 又は畦間処理)	300~500 mℓ/10a		3回 以内		3回 以内				
ほうれんそう						2回 以内		2回 以内				
とうがん			定植前 (雑草生育期)			3回 以内		3回以内				
			収穫前日まで (雑草生育期 畦間処理)			2回 以内						
しそ			収穫14日前まで (雑草生育期 畦間処理)			2回 以内		2回 以内				
ごま			は種又は 定植9日前まで (雑草生育期)			500 mℓ/10a		1回	3回以内 (は種又は 定植後は 2回以内)			
			収穫21日前まで (雑草生育期 畦間処理)					100 ℓ/10a				
みょうが (花穂)			収穫14日前まで (雑草生育期 萌芽前又 は畦間処理)			300~500 mℓ/10a			2回以内	2回 以内		
みょうが (茎葉)			みょうが(花穂)の 収穫14日前まで ただし、花穂を収穫 しない場合にあっては 開花期終了まで (雑草生育期 萌芽前 又は畦間処理)									
かのこそう			収穫14日前まで (雑草生育期 定植前 又は畦間処理)								9回以内 (1年間に3回 以内)	9回以内 (1年間に 3回以内)
甘草												
ぎぼうし		3回 以内		3回 以内								
ホップ		収穫90日前まで (雑草生育期 畦間処理)	3回 以内	3回 以内								
さとうきび		一年生 雑草 及び 多年生 雑草	耕起又は植付7日前 まで(雑草生育期)	300~1000 mℓ/10a							1回	4回以内 (植付後は 3回以内)
			収穫14日前まで (雑草生育期 畦間処理)								3回 以内	
		圃場内 の 周縁部	一年生 雑草 及び 多年生 雑草									

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ケルソネット及びケルソネットPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
茶	—	一年生雑草	摘採7日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300~500 mℓ/10a	100~150 ℓ/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
茶(幼木)			雑草生育期 畦間・株間処理	300 mℓ/10a	100 ℓ/10a			
水田作物			水田 刈跡	耕起前 (雑草生育期)	300~500 mℓ/10a	100~150 ℓ/10a		1回
水田作物 (水田刈跡)	雑草生育期							
水田作物 (水田畦畔)	水田 畦畔	一年生雑草、 多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	500~1000 mℓ/10a	2回以内	2回以内	3回以内	
たばこ	—	一年生雑草	雑草生育期 大土寄期 畦面・畦間処理	200~500 mℓ/10a				1回
花き類・ 観葉植物			雑草生育期 畦間処理	300~500 mℓ/10a				
樹木類			公園、 庭園、 堤とう、 駐車場、 道路、 運動場、 宅地、 のり面、 鉄道等	多年生雑草	雑草生育期	500~1000 mℓ/10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布
樹木等	1000~2000 mℓ/10a							

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 散布直後の降雨は、効果を減ずるので、天候をよく見きわめてから散布すること。
- 雑草の生育期に有効であるが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、草丈30cm程度を目安に時期を失ないように、薬液が雑草全体によく付着するようにていねいに散布すること。
- 植物に薬液が付着すると薬害を生じるので散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散ないように散布すること。特に野菜類の生育期畦間散布で使用する場合は作物にかからないように十分注意して散布すること。
- 茶(幼木)に使用するときは樹高30cm以上、雑草の草丈20cm以下で処理すること。処理当年には摘採しないこと。薬液が付着した茶葉には黄化、褐変、落葉などの症状を生じることがあるので、噴口を低くして芽や新葉にかからないように注意して散布すること。
- アスパラガスの立茎栽培で使用する場合は、萌芽している若茎に薬害を生じるおそれがあるので、散布後新たに萌芽した若茎を用いて立茎することが望ましい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 散布液を調製した容器及び散布器具は使用後十分に洗っておくこと。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 原液は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 使用残りの薬剤は安全な場所に保管すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、養魚田周辺での使用には注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。